

# 土砂防 だより



新幹線と富士（富士市）

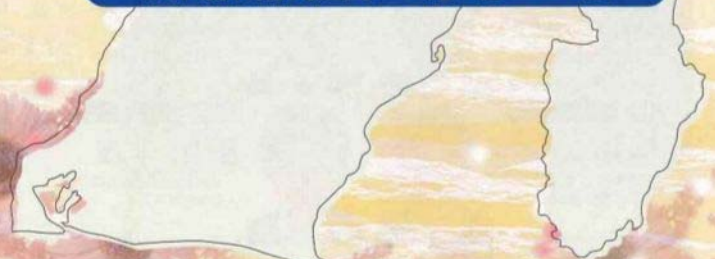
新年度のご挨拶 .....	2
<b>静岡の砂防100周年記念特集</b> .....	3
<b>土砂災害防止月間</b> .....	4
土砂災害防止法 .....	5
<b>砂防関係予算</b> .....	6
あなたのまちの安全度 .....	8
静岡県議会治山・砂防事業推進議員連盟現地視察	10
第1回砂防講演会の開催 .....	11
国際交流 行事予定 .....	13
わがまちの砂防 (大仁町・長泉町・由比町・浜松市) .....	14
新人紹介 砂防関係の主な行事 .....	16

## 特集

### 静岡の砂防100周年記念 平成14年度当初予算 みんなで防ごう土砂災害

土砂災害防止月間 6月1日～30日

かけ崩れ防災週間 6月1日～7日



2002年は静岡の砂防100周年



全国治水砂防協会  
静岡県支部

# 静岡の砂防100周年記念特集

明治34年8月、県は治水砂防上の山地取締や荒廃地での土砂流出防止のための砂防施設の必要性から、安部郡玉川村奥仙俣（現在の静岡市奥仙俣）を砂防指定地として内務省に申請し、同年10月11日に内務省告示第70号で指定を受け、明治35年、県内において初めて砂防事業に着手しました。

平成14年は静岡の砂防事業がはじまって100年目の節目となる年です。そこで「静岡の砂防100周年」として、年間を通じて土砂災害防止に関する各種イベントを計画しております。

イベントに関しては、様々な機会を通じてPRいたしますので、皆様のご意見や積極的な参加をお願いします。

## 【今年度予定している主なイベント】

6月  
(予定)

静岡の砂防100周年記念

### 静岡の砂防に関する絵画・作文・写真等の募集

静岡の砂防事業や土砂災害防止に関する絵画・作文・写真を募集します。  
(募集期間6～9月)

8月  
(予定)

静岡の砂防100周年記念

### 砂防現場見学会

県内各地の砂防事業の現場見学会を開催します。

11月  
(予定)

### 静岡の砂防100周年記念式典

砂防事業100周年を記念した式典の開催  
絵画・作文・写真等コンクールの表彰  
記念碑の除幕、記念講演会を開催します。

## 明治35年の砂防事業



現在の仙俣川石積工

安倍川上流仙俣川で石積護岸工や山腹工などの工事が行われ、事業費は6,169円41銭でした。

ちなみに、当時の平均月収は約5円前後でした。

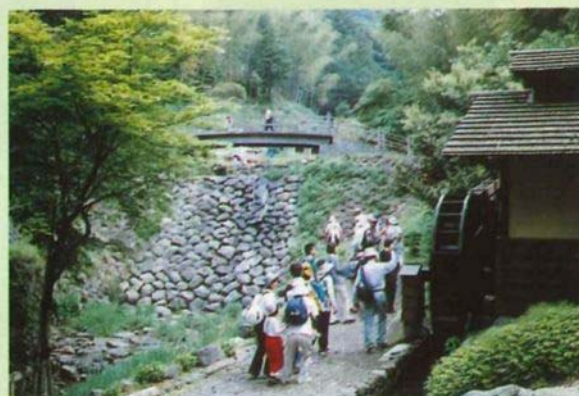
## 木和田川砂防堰堤が有形文化財に

木和田川砂防堰堤（志太郡岡部町）が、平成14年3月22日に開催された文化審議会で登録有形文化財に答申されました。木和田川砂防堰堤は明治43年8月の豪雨による土砂災害を契機に、大正元年から2年にかけて完成した空石積砂防堰堤群で、その形状から兜堰堤と呼ばれ、国土の歴史的景観に寄与していることが評価され、今回8基が有形文化財に答申されたものです。

今回の答申では、全国22都道府県から140件（53箇所）が新たに登録されます。

県内の土木構造物としては、「明治宇津ノ谷隧道（静岡市・岡部町）」と「観魚洞隧道（熱海市）」の2件が登録されています。（「旧天城隧道」は登録後、重要文化財に指定されています）

静岡県では、平成7年度から11年度にかけて木和田川堰堤群周辺を「砂防学習ゾーン」として整備を行い、現在多くの人々に利用されています。



木和田川砂防堰堤（兜堰堤）

登録有形文化財とは建築後50年を経過した建造物が対象となり、①国土の歴史的景観に寄与しているもの、②造形の規範となっているもの、③再現することが容易でないもの、等が文化審議会の審議を経て登録されます。

# みんなで防ごう土砂災害

土砂災害防止月間 6月1日▶30日

梅雨時は、雨量も多く地盤がゆるみ、土石流、地すべり、がけ崩れ等の土砂災害が発生しやすくなります。

土砂災害から尊い人命や財産を守るため6月を「土砂災害防止月間」と定め、国、県が市町村等関係機関と連携して、土砂災害に関する防災知識の普及と警戒避難体制の整備促進等を図ります。

## ●土砂災害防止月間の行事予定

- 6月 1日～15日 急傾斜地パトロール〈県内〉
- 6月 6日～ 7日 土砂災害防止推進の集い（全国大会）  
砂防ボランティア全国集い〈岐阜県岐阜市〉
- 6月23日 砂防フェスティバル〈静岡市青葉緑地〉
- 6月 1日～30日 平成13年度土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の応募作品展示  
〈県庁・土木事務所・市町村庁舎〉



昨年の急傾斜地パトロールの様子

### 急傾斜地パトロール

地域住民や砂防ボランティアの参加による協働をテーマに、がけ崩れ危険箇所の点検パトロールを実施します。



昨年の砂防フェスティバルの状況

### 砂防フェスティバル

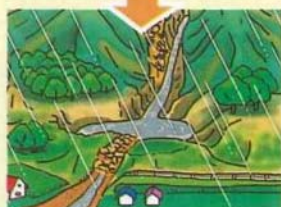
静岡市青葉緑地で、砂防フェスティバルを開催します。会場では、砂防事業の紹介、絵画・ポスター・作文の入賞作品の展示と、ラジオの生中継等が行われます。皆様のご来場をお待ちしています。

## 土砂災害とはこのような災害です。

### ■土石流■



山の斜面が削られ、川の水に土砂が混ざりはじめる。



土砂が川をせき止める。



土石流が発生し、家や田畑が土砂で埋まる。

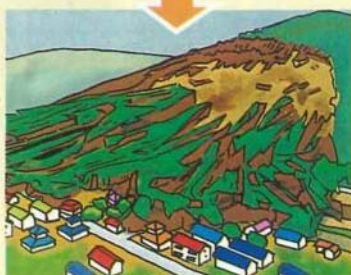
### ■地すべり■



山の斜面に亀裂が発生。



地面がゆっくりと動きだす。

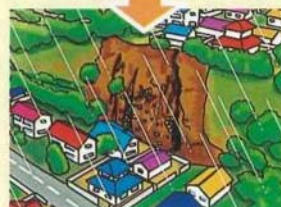


家や道路が壊される。

### ■がけ崩れ■



がけに亀裂が発生し、水がわき出す。



小石がばらばらと落ちてくる。



がけが崩れ、家などを押しつぶす。

# 土砂災害防止法

## 基礎調査の実施状況

■土砂災害防止法の区域指定に向け、以下のような基礎調査※を実施しています。

### 平成13年度の実施状況

#### ①地形図の作成

航空測量を行い、基礎調査や区域指定等に利用する縮尺1/2,500の地形図を一部土木事務所で作成しました。

#### ②基礎調査方法の検討

県内の土砂災害危険箇所から32箇所をモデル箇所として調査し、本県の特性にあった調査方法を検討しました。

### 平成14年度の実施予定

#### ①地形図の作成

平成13年度に引き続き地形図の作成を実施します。  
(平成15年度完了予定)

#### ②指定方法の検討

土砂災害防止法の区域指定の手続方法等の検討や、平成13年度に検討した基礎調査方法について学識経験者等に専門的・技術的な意見を求めます。

#### ③基礎調査の実施

■土砂災害防止法の円滑な運用に向け、各県が協働して課題の検討や意見交換などを行っています。

### 全国規模での土砂災害防止法運用に向けた活動状況(平成14年)

1月23日	全国がけ協防止法施策検討委員会	(東京)
2月5日	全国がけ協防止法第2回連絡部会	(東京)
3月14日	全国がけ協防止法地すべりWG	(東京)
3月15日	全国がけ協防止法周知啓発WG	(東京)
3月20日	防止法東海四県担当者会議	(名古屋)
3月25日	全国がけ協防止法第3回連絡部会	(東京)



※基礎調査  
県が、溪流や斜面及びその下流などの土砂災害により被害を受ける恐れのある区域の地形、地質、土地利用状況等について調査します。

## 市町村や県民のみなさんへのお願い

本年度も、地形・地質・土地の利用状況や過去の災害の有無といった基礎調査を進めていく上で必要となるデータ収集のための現地調査等を実施しますのでご協力願います。

## 県民・市町村への土砂災害情報の提供を進めています

### ■市町村への土砂災害雨量情報・危険度情報の提供

県では市町村における警戒避難体制を強力に支援するために、雨量情報や土砂災害に関する危険度判定情報の配信を予定しています。

土木総合防災情報システム(SIPOSⅡ)による県下107箇所を設置された地上雨量計での観測に加え、松崎町の大峠局地レーダ雨量計や気象庁の広域レーダの活用により、局地的な雨量情報を県下21ブロックに分割して、地区ごとに土砂災害危険度判定情報を提供します。

これにより、各市町村の土石流やがけ崩れに対する警戒避難体制の強化、避難体制の整備が図れるものと期待されます。

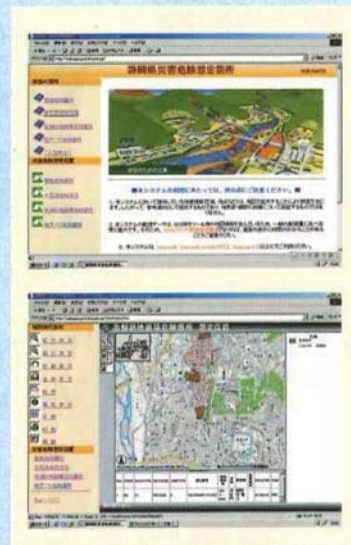
### ■県民への土砂災害箇所位置情報の提供

砂防GIS(地理情報システム)を利用して、県下5,161箇所の土砂災害危険箇所(土石流危険溪流、地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所)の位置を県民のみなさんが確認できるようにインターネットでの配信を予定しています。

土砂災害から身を守るためには、平常時から正確な情報・知識をもつことが大切です。

土砂災害危険箇所位置情報は、静岡県土木部ホームページからアクセスできます。

静岡県土木部ホームページ URL: <http://www.pref.shizuoka.jp/doboku/doboku1.html>



平成14年度

# 当初予算可決

砂防関係予算

# 111億8,500万円余

平成14年度当初予算が平成14年2月定例議会において可決され、静岡県一般会計の歳出総額は1兆1,920億円で、前年度に比べ約1,300億円の減となりました。

砂防関係予算の総額は111億8,548万円余で前年度より約22億円の減となりました。(前年度当初比83.6%)  
主な内訳は次のとおりです。

## 1 国庫補助事業 80億8,000万円 (前年度当初比82.5%)

国の補助を得て、溪流、急傾斜地等に砂防施設等の整備を行うとともに、「土砂災害防止法」施行に伴う基礎調査費等を実施します。

## 2 県単独事業 17億8,900万円 (前年度当初比90.0%)

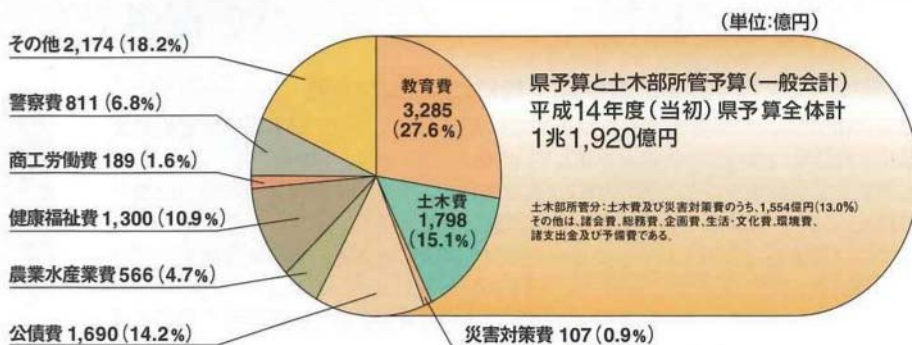
国庫補助事業に採択されない箇所について、砂防、地すべり、急傾斜地崩壊防止工事を行うとともに、東海地震に備えて緊急輸送路関連土砂災害対策事業等を実施します。

## 3 国直轄事業費負担金 12億7,300万円 (前年度当初比80.0%)

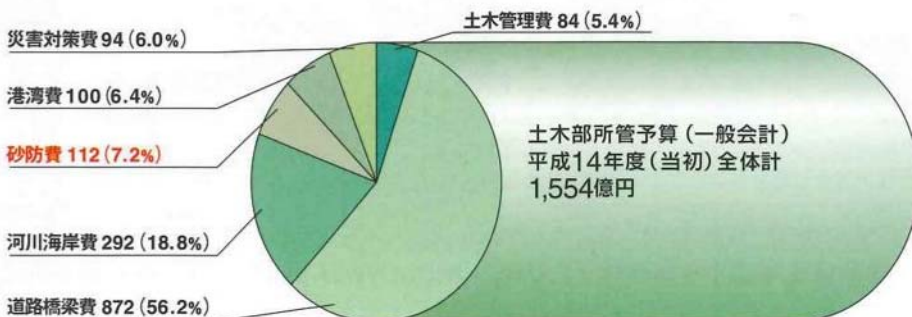
富士山、安倍川、狩野川において、国土交通省が行う直轄砂防事業に対する県負担金です。

## 静岡県の砂防関係予算

### ■ 県予算 (平成14年度当初)



### ■ 土木部予算 (平成14年度当初)

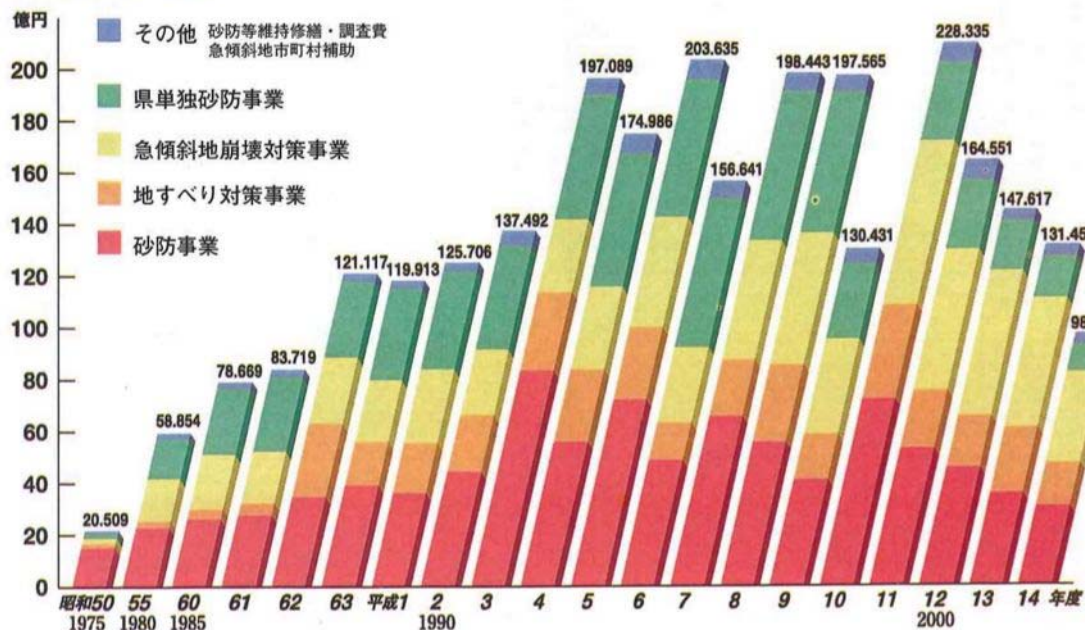


# 平成14年度砂防関係当初予算

(単位：千円、%)

事業名		14当初 (A)	13当初 (B)	13最終 (C)	A/B	A/C	
行政費	砂防管理費	3,485	3,826	3,826	91.1	91.1	
	砂防施設等環境保全事業費	40,000	0	21,400	皆増	186.9	
	グリーンベルト環境保全事業費	(9,450)	0	(5,000)	皆増	(189.0)	
	砂防堰堤環境調査事業費	(20,330)	0	(11,500)	皆増	(176.8)	
	急傾斜地リフレッシュ事業費	(10,220)	0	(4,900)	皆増	(208.6)	
	計	43,485	3,826	25,226	1,136.6	172.4	
国庫補助事業	砂防	通常砂防	1,115,000	1,612,000	1,862,736	69.2	59.9
		通常砂防(河川等関連)	35,000	25,000	31,000	140.0	112.9
		相互通報システム(砂防)	154,000	170,000	170,000	90.6	90.6
		情報基盤緊急整備	28,000	30,000	30,000	93.3	93.3
		小計	1,332,000	1,837,000	2,093,736	72.5	63.6
	火山砂防	900,000	966,000	1,019,000	93.2	88.3	
	火山砂防(河川等関連)	0	20,000	21,000	-	-	
	小計	900,000	986,000	1,040,000	91.3	86.5	
	特定緊急砂防	0	150,000	150,000	0.0	0.0	
	砂防基礎調査(砂防)	168,000	159,000	159,000	105.7	105.7	
	小計	2,400,000	3,132,000	3,442,736	76.6	69.7	
	地すべり	地すべり対策	403,000	442,000	615,000	91.2	65.5
		地すべり対策(河川等関連)	110,000	210,000	210,000	52.4	52.4
		相互通報システム(地すべり)	0	2,000	0	-	-
		小計	513,000	654,000	825,000	78.4	62.2
砂防基礎調査(地すべり)		18,000	27,000	21,000	66.7	85.7	
急傾斜	急傾斜地崩壊対策	3,169,000	4,075,000	4,499,230	77.8	70.4	
	急傾斜地崩壊対策(河川等関連)	106,000	110,000	106,000	96.4	100.0	
	情報基盤緊急整備	36,000	40,000	40,000	90.0	90.0	
	相互通報システム(急傾斜)	24,000	35,000	28,000	68.6	85.7	
	小計	3,335,000	4,260,000	4,673,230	78.3	71.4	
	急傾斜地基礎調査	84,000	27,000	27,000	311.1	311.1	
	小計	3,419,000	4,287,000	4,700,230	79.8	72.7	
	小計	6,350,000	8,100,000	8,988,966	78.4	70.6	
	災害関連	緊急砂防	72,000	165,000	0	43.6	-
		緊急地すべり対策	1,272,000	1,134,000	1,470,000	112.2	86.5
緊急急傾斜地崩壊対策		96,000	96,000	153,900	100.0	62.4	
計	1,440,000	1,395,000	1,623,900	103.2	88.7		
演習場地区砂防	290,000	298,000	297,143	97.3	97.6		
国庫補助事業計	8,080,000	9,793,000	10,910,009	82.5	74.1		
県単独事業	生活環境整備	通常砂防	425,700	495,000	495,000	86.0	86.0
		地すべり対策	34,000	37,000	37,000	91.9	91.9
		急傾斜地崩壊対策	478,000	552,000	802,000	86.6	59.6
		災害緊急整備	50,000	50,000	50,000	100.0	100.0
		緊急輸送路関連土砂災害対策	60,000	72,000	72,000	83.3	83.3
		砂防等維持修繕	141,000	121,000	121,000	116.5	116.5
		砂防等調査	178,000	189,000	189,000	94.2	94.2
		砂防等台帳整備	13,300	14,000	14,000	95.0	95.0
		小計	1,380,000	1,530,000	1,780,000	90.2	77.5
		急傾斜補助	76,200	90,000	90,000	84.7	84.7
	指定促進対策	33,800	35,000	35,000	96.6	96.6	
	小計	110,000	125,000	125,000	88.0	88.0	
	小計	1,490,000	1,655,000	1,905,000	90.0	78.2	
	自然災害	砂防	131,000	151,000	148,245	86.8	88.4
		地すべり対策	20,000	25,000	25,000	80.0	80.0
急傾斜地崩壊対策		148,000	157,000	157,000	94.3	94.3	
小計	299,000	333,000	330,245	89.8	90.5		
県単独事業計	1,789,000	1,988,000	2,235,245	90.0	80.0		
砂防費計	9,869,000	11,781,000	13,145,254	83.8	75.1		
国直轄事業費負担金	1,273,000	1,592,000	2,376,549	80.0	53.6		
合計	11,142,000	13,373,000	15,521,803	83.6	71.9		

## 砂防関係事業費の推移



目で見て  
わかる

# あなたのまちの安全度

静岡県内には土砂災害危険箇所が5,161箇所あります。  
あなたのまちの土砂災害危険箇所と、その整備状況を確認してみましょう。

## 市町村別土砂災害危険箇所と最近10年間の災害発生件数

(平成14年3月31日現在)

土木事務所名	市町村名	土石流危険渓流			地すべり危険箇所			急傾斜地崩壊危険箇所				合計				災害発生件数(H3~12)
		危険箇所数	概成箇所数	整備率	危険箇所数	概成箇所数	整備率	危険箇所数	要対策箇所数	概成箇所数	整備率	危険箇所数	要対策箇所数	概成箇所数	整備率	
下田土木	下田市	76	13	17.1				132	129	16	12.4	208	205	29	14.1	25
	東伊豆町	17	5	29.4	6	1	16.7	38	35	7	20.0	61	58	13	22.4	3
	河津町	46	12	26.1	5	2	40.0	40	38	12	31.6	91	89	26	29.2	14
	南伊豆町	55	8	14.5	1	1	100.0	137	136	29	21.3	193	192	38	19.8	21
	松崎町	40	6	15.0	1	1	100.0	69	69	13	18.8	110	110	20	18.2	9
	西伊豆町	36	4	11.1	1			39	37	4	10.8	76	74	8	10.8	3
	賀茂村	13	7	53.8				20	20	10	50.0	33	33	17	51.5	0
	小計	283	55	19.4	14	5	35.7	475	464	91	19.6	772	761	151	19.8	75
熱海土木	熱海市	41	12	29.3	1			100	80	9	11.3	142	122	21	17.2	7
	伊東市	34	12	35.3	2	1	50.0	58	50	22	44.0	94	86	35	40.7	4
	小計	75	24	32.0	3	1.0	33.3	158	130	31	23.8	236	208	56	26.9	11
沼津土木	沼津市	60	10	16.7				100	100	48	48.0	160	160	58	36.3	3
	三島市	9	1	11.1				42	26	16	61.5	51	35	17	48.6	18
	御殿場市	15	5	33.3				2	2			17	17	5	29.4	0
	裾野市	20	8	40.0				26	23	6	26.1	46	43	14	32.6	1
	伊豆長岡町	16	1	6.3	1			29	29	5	17.2	46	46	6	13.0	0
	修善寺町	73	8	11.0	3			41	38	12	31.6	117	114	20	17.5	14
	戸田村	23	8	34.8				17	17	12	70.6	40	40	20	50.0	1
	土肥町	21	9	42.9	1			31	31	7	22.6	53	53	16	30.2	0
	函南町	13	3	23.1	1			13	12	4	33.3	27	26	7	26.9	14
	葦山町	13						21	18	10	55.6	34	31	10	32.3	5
	大仁町	13	1	7.7				17	14	6	42.9	30	27	7	25.9	1
	天城湯ヶ島町	89	10	11.2	2			10	10			101	101	10	9.9	0
	中伊豆町	69	10	14.5	2	1	50.0	7	7	1	14.3	78	78	12	15.4	1
	清水町	2	1	50.0				6	6	1	16.7	8	8	2	25.0	1
	長泉町	1						17	16	1	6.3	18	17	1	5.9	1
小山町	30	10	33.3				32	31	15	48.4	62	61	25	41.0	3	
小計	467	85	18.2	10	1	10.0	411	380	144	37.9	888	857	230	26.8	63	
富士土木	富士宮市	10	3	30.0				35	31	9	29.0	45	41	12	29.3	3
	富士市	17	6	35.3				28	27	15	55.6	45	44	21	47.7	3
	芝川町	31	10	32.3	1			46	43	7	16.3	78	75	17	22.7	2
	小計	58	19	32.8	1			109	101	31	30.7	168	160	50	31.3	8
静岡土木	静岡市	292	51	17.5	4	2	50.0	407	333	155	46.5	703	629	208	33.1	47
	清水市	185	38	20.5	1			190	186	44	23.7	376	372	82	22.0	16
	富士川町	19	7	36.8	1	1	100.0	20	18	11	61.1	40	38	19	50.0	0
	蒲原町	11	8	72.7				12	12	8	66.7	23	23	16	69.6	0
	由比町	17	8	47.1	6			21	20	11	55.0	44	43	19	44.2	1
	小計	524	112	21.4	12	3	25.0	650	569	229	40.2	1,186	1,105	344	31.1	64
島田土木	島田市	54	14	25.9	9	2	22.2	84	70	29	41.4	147	133	45	33.8	6
	焼津市	20	6	30.0	1	1	100.0	24	21	16	76.2	45	42	23	54.8	3
	藤枝市	40	7	17.5	26	3	11.5	96	77	31	40.3	162	143	41	28.7	4
	岡部町	48	18	37.5	1	1	100.0	41	40	10	25.0	90	89	29	32.6	4
	大井川町															
	金谷町	19	1	5.3	4	3	75.0	25	22	9	40.9	48	45	13	28.9	4
	川根町	21	4	19.0	13			21	19	8	42.1	55	53	12	22.6	2
	中川根町	15	3	20.0				14	14	3	21.4	29	29	6	20.7	0
	本川根町	4						12	11	1	9.1	16	15	1	6.7	0
	小計	221	53	24.0	54	10	18.5	317	274	107	39.1	592	549	170	31.0	23
御前崎土木	御前崎町							9	9	5	55.6	9	9	5	55.6	1
	相良町	10	3	30.0	2	1	50.0	20	19	8	42.1	32	31	12	38.7	1
	榛原町	7	5	71.4				30	30	6	20.0	37	37	11	29.7	2
	吉田町							4	4	2	50.0	4	4	2	50.0	0
小計	17	8	47.1	2	1	50.0	63	62	21	33.9	82	81	30	37.0	4	
袋井土木	磐田市	2						19	19	1	5.3	21	21	1	4.8	2
	掛川市	23			11	4	36.4	30	30	10	33.3	64	64	14	21.9	14
	袋井市	7						32	29	6	20.7	39	36	6	16.7	3
	大須賀町	9						10	10	2	20.0	19	19	2	10.5	0
	浜岡町	2						24	24	9	37.5	26	26	9	34.6	4
	小笠町	5						34	32	3	9.4	39	37	3	8.1	0
	菊川町	3				1		45	45	17	37.8	48	48	18	37.5	8
大東町							36	35	4	11.4	36	35	4	11.4	10	

土木事務所名	市町村名	土石流危険渓流			地すべり危険箇所			急傾斜地崩壊危険箇所				合計				災害発生件数 (H3~12)
		危険箇所数	概成箇所数	整備率	危険箇所数	概成箇所数	整備率	危険箇所数	要対策箇所数	概成箇所数	整備率	危険箇所数	要対策箇所数	概成箇所数	整備率	
袋井土木	森町	22	3	13.6	5	2	40.0	20	16	3	18.8	47	43	8	18.6	8
	浅羽町															
	福田町															
	竜洋町															
	豊岡村	9	1	11.1				6	5			6	5			0
小計	82	4	4.9	16	7	43.8	264	252	57	22.6	362	350	68	19.4	50	
天竜土木	天竜市	53	10	18.9	7	1	14.3	123	108	14	13.0	183	168	25	14.9	10
	春野町	33	8	24.2	13	5	38.5	47	39	10	25.6	93	85	23	27.1	16
	龍山村	4	4	100.0	6	1	16.7	28	27	7	25.9	38	37	12	32.4	1
	佐久間町	30	7	23.3	16	5	31.3	83	68	10	14.7	129	114	22	19.3	15
	水窪町	24	12	50.0	24			36	35	5	14.3	84	83	17	20.5	4
小計	144	41	28.5	66	12	18.2	317	277	46	16.6	527	487	99	20.3	46	
浜松土木	浜松市	11						175	132	40	30.3	186	143	40	28.0	18
	浜北市				1			2	1	1	100.0	3	2	1	50.0	0
	湖西市	1						24	24	5	20.8	25	25	5	20.0	0
	舞阪町															
	新居町	1						13	13	4	30.8	14	14	4	28.6	1
	雄踏町							1	1	1	100.0	1	1	1	100.0	0
	細江町	10	3	30.0				33	33	11	33.3	43	43	14	32.6	0
	引佐町	29	2	6.9	4	2	50.0	22	21	2	9.5	55	54	6	11.1	4
	三ヶ日町	9	1	11.1				12	12	2	16.7	21	21	3	14.3	0
	小計	61	6	9.8	5	2	40.0	282	237	66	27.8	348	303	74	24.4	23
合計	1,932	407	21.1	183	42	23.0	3,046	2,746	823	30.0	5,161	4,861	1,272	26.2	367	

## 急傾斜地崩壊危険箇所(要対策箇所)と整備済箇所の分布状況





## 静岡県議会 治山・砂防事業推進議員連盟が現地視察

水と豊かな生活環境の創造と安心して暮らせる社会基盤の整備を目標に砂防事業の推進を目指す「静岡県議会治山・砂防事業推進議員連盟」が、平成14年3月26日に、安倍川流域の砂防関係事業の現地視察を実施しました。

今回の視察には会員73名のうち21名が参加し、安倍川上流の大谷崩れ直轄砂防事業、静岡市郷島地区の急傾斜地崩壊対策、入島地区の治山事業や龍西橋橋梁災害復旧工事、県道梅ヶ島温泉昭和線道路災害復旧工事等を視察しました。

特に、日本三大崩れの一つと言われている「大谷崩れ」では、崩壊地の大きさ、流出した土砂量の多さと山腹緑化工、砂防床固工の効果を確認され、参加した議員からは、土砂災害防止のための砂防事業の重要性を再認識したとの声が多く聞かれました。

### 視察行程

県庁→龍西橋梁災害復旧事業→郷島地区急傾斜地対策→瀬戸沢治山事業→  
県道梅ヶ島温泉昭和線道路災害復旧事業→大谷崩れ直轄砂防事業→県庁



### ■参加議員（敬称略、順不同）：21名

竹内 清(平成21)、 佃 弘巳(自民)、 野澤義雄(平成21)  
谷 卓宜(公明)、 込山正秀(自民)、 天野 一(自民)  
田辺信宏(自民)、 村松忠治(自民)、 小楠和男(自民)  
鈴木利幸(自民)、 杉山盛雄(自民)、 田島秀雄(自民)  
須藤秀忠(自民)、 安間英雄(自民)、 草賀文雄(自民)  
西郷芳晃(自民)、 小野健吾(自民)、 森竹治郎(自民)  
田中泰之(平成21)、 松岡紋子(平成21)、 前林孝一良(公明)



⑤ 郷島野田平坂

④ 郷島奥平

③ 郷島房平

② 郷島ママ下

① 郷島宮ノ上



郷島地区急傾斜地対策（静岡市）



大谷崩れ

## 2月県議会本会議で 土砂災害防止対策 富士山火山防災対策 について質問

平成14年2月の県議会本会議において、砂防事業関係の質問がありました。まず、中谷県議（天竜市・磐田郡北部）から土砂災害防止対策として、①土砂災害情報相互通報システムの整備の進め方、②土砂災害防止法の対象箇所と区域指定の進め方の質問があり、山口土木部長から①今後10年間を目途に全市町村で相互通報機器を整備予定、②対象箇所は約15,300箇所です。今後5年間をかけて基礎調査を行い、順次災害歴のある箇所等を優先的に指定して行きたい旨の答弁がありました。

また、植田県議（富士市）から富士山の火山防災対策として火山砂防調査の内容の質問があり、土木部長から国が平成14年度から概ね3ヵ年をかけて火山噴火対策の実施に関する調査をする旨の答弁がありました。

～宝永の大噴火と災害から学ぶ～  
**富士山火山防災シンポジウムを開催**



パネルディスカッションの様子



松尾教授の講演

平成14年2月22日に、「富士山火山防災シンポジウム」が、御殿場市民会館において開催されました。

富士山最大級の噴火である宝永噴火の現象と災害について、静岡大学の小山教授と学習院女子大学の松尾教授が基調講演を行い、山崎NHK解説委員をコーディネーターに長田御殿場市長などをパネリストとして、火山災害に備えた街づくり、人づくりについてパネルディスカッションが開かれ、周辺地域の広域防災体制等に関して活発な討論が行われました。

**全国支部事務局員会議が本部協会で開催される**

平成14年3月13日に、砂防会館において41都道府県の支部事務局担当者が集まり、全国支部事務局員会議が開催されました。

会議は大久保理事長の挨拶に始まり、引続き大久保理事長より協会本部の役割・活動について説明の後、宮内理事より各支部の活動についての説明がありました。また、国土交通省河川局岡本砂防部長より「土砂災害行政」についての講話がありました。会議終了後には各県の砂防協会の状況・取組みについて事務局員同士の活発な意見交換が行われ、地方の協会事務局員にとって有意義な会議になりました。



大久保理事長の説明

～静岡の砂防100周年記念～  
**“今後の砂防事業の取り組み”をテーマに  
 第1回「砂防講演会」を開催**



国土交通省砂防計画課 南砂防計画調整官の講演

平成14年は、静岡県で砂防工事に着手して100周年となる節目の年です。県ではこれを記念して、平成14年1月24日に、国土交通省砂防計画課南砂防計画調整官、土屋静岡大学教授を講師に招き砂防講演会を開催しました。

講演会には県・市町村の砂防・防災担当者をはじめ、県内の直轄工事事務所や東海4県の砂防関係者等、約130名が参加しました。南調整官からは「砂防事業における危機管理のあり方」について、土屋教授からは「台湾大地震を教訓とした地震による土砂災害対策」について、今後本県が砂防事業に取り組む上で大変貴重な講演していただきました。

## 「静岡県砂防ボランティア協会」が総会を開催（会員51名体制に強化）

平成14年1月30日に、平成13年度静岡県砂防ボランティア総会が静岡市内で開催されました。総会では、平成13年度の活動報告、平成14年度の活動計画、役員改選、協会のNPO化を検討するための説明などがあり、新会長に長川好伸氏、副会長に森下則雄氏が選出されました。

また、新会員10名が承認され総計51名となりました。本年度も強化された新体制でボランティア活動の一層の推進を図るよう会員の意見交換も行いました。



51名に増強した砂防ボランティア

## 自主防災組織を対象に「土砂災害防止法」を説明



講演会で挨拶する熱海市長

平成14年2月13日、熱海市観光会館において「地震防災講演会」（主催：熱海市）が開催され、熱海市の自主防災会や消防関係者約500人が参加しました。

講演会では、砂防室職員による土砂災害防止法の説明が行われ、「なぜ土砂災害防止法ができたのか」「土砂災害防止法で指定される区域はどのようなところか」「指定されるとどうなるのか」など法律の概要の説明に加え、この法律の運用に向けて現在、県がどのような調査を行っているかなどを説明しました。参加者には新しい法律について大きな関心をもっていただけました。

## 静岡市・清水市都市山麓グリーンベルトでボランティアとの協働作業始まる

砂防室では都市山麓グリーンベルト整備事業の清水市大内地区をモデルに、地域住民やボランティアと協働して土砂災害に強い砂防樹林帯の育成を行うため、樹林帯の整備計画等について、ワークショップを開催し検討してきました。

平成14年3月10日に、樹林帯の管理を行うにあたり必要な竹林の伐採作業を学ぶため、森林保護ボランティアグループ「清水みどり情報局(S-GIT)」より指導員を招き、清水市大内の杉谷津沢砂防堰堤周辺で、竹林の伐採作業の技術講習が行われました。

当日は住民・行政合わせて37名が参加し、繁茂した竹林の伐採作業が行われ暗かった林内に明るさが戻りました。今後も活動を行っていきますので皆さんの参加をお待ちしております。



地域住民、ボランティアとの協働による竹林の伐採

その他の

行事

平成13年12月15日	口坂本地すべり対策検討委員会	(静岡市)
平成14年 1月15日	静岡県砂防治山連絡会議	(県 庁)
1月21日	土砂災害防止法等実務担当者説明会	(県 庁)
1月29日	東海地区直轄事務所長・砂防課長会議	(長野県)
2月7~8日	東海地区砂防課長補佐会議	(三重県)
2月 8日	全国河川・砂防主幹課長会議	(東京都)
2月15日	全国グリーンベルト研究会	(東京都)

## ～国際交流～日台砂防共同研究会視察団が本県を視察

平成14年2月25日、台湾行政院農業委員会九二一震災災後重建推動委員會大地工程所の藩所長を団長とする計8名が県内の砂防施設の視察に訪れました。

この視察は、(社)全国治水砂防協会の主催により、2月22日から28日までの7日間で三重県での台湾地震災害研究報告会、三重県、岐阜県、静岡県



台湾視察団と（俵沢支所にて）

では口坂本地区の土砂災害情報提供システム、木和田川砂防学習ゾーン、静岡県

土砂災害雨量情報システムなどを視察しました。視察団の皆さんは、特に土石流災害の予知と対策や自然工法に関心が高く、砂防室や静岡土木事務所の職員と熱心な意見交換をされました。



熱心に説明を聞く視察団（俵沢支所にて）

## ～国際交流～台湾国立成功大学謝教授下田土木事務所管内を視察

平成14年1月16日、台湾国立成功大学謝教授が下田土木事務所管内の砂防施設の視察に訪れました。

この視察は、(社)全国治水砂防協会の主催により、1月17日に開催された「最近の台湾土砂災害に関する講演会（於：東京）」に先立ち、本県の砂防施設を視察するもので、下田土木事務所の大峠局地レーダー雨量計端末装置や落合川土石流堰堤などを視察しました。謝教授は、特に土石流災害の予知と対策に関心が高く、下田土木事務所の職員と熱心に意見交換をされました。



大峠レーダー端末装置を見学する謝教授

### ◆平成14年度の行事予定

日程	全国治水砂防協会 静岡県支部	日程	砂防関係研修予定
5月22日 31日	(社)全国治水砂防協会通常総会（東京都） 全国治水砂防協会静岡県支部通常総会（静岡市）	5月14～15日	社砂防学会通常総会並びに研究発表会（東京都）
6月23日	砂防フェスティバルしずおか（静岡市）	28日	社日本地すべり学会総会及びシンポジウム（東京都）
8月上旬 下旬	砂防関係事業の促進要望実施 市町村長等砂防事業視察	6月6～7日	土砂災害防止推進の集い全国大会（岐阜県岐阜市）
10月予定	くらしと土木展参加	8月27～30日	社日本地すべり学会研究発表会及び現地見学会 （徳島県徳島市）
11月1日 初旬 26日	静岡の砂防100周年記念式典ほか 市町村等砂防担当職員研修 全国治水砂防促進大会及び 砂防関係事業の促進要望実施（東京都）	10月予定	技術研修会並びに研究発表会 （全国地すべりがけ崩れ対策協議会）
		11月予定	地すべりフォーラム 技術研究成果報告会 （砂防・地すべり技術センター）（東京都）
		3月	砂防及び地すべり防止講習会（東京都）

# わがまちの砂防

大仁町

大仁町 建設課長 矢田重範

わが町・おおひとは面積43.56km<sup>2</sup>、人口15,680人、伊豆半島の真ん中に位置し、伊豆の力こぶ・城山（じょうやま）に見守られた緑豊かなまちです。

一級河川狩野川水系「深沢川」は本町を東西に二分する延長10.5kmの河川で、狩野川合流点附近を除く河川区域は砂防指定地に指定され、静岡県水辺100選に選ばれた清流深沢川の源流付近に計画した「町民の森」整備事業に合わせ、ふるさと砂防事業により周辺の自然と環境にマッチした河道の整備を実施しました。

この砂防事業は、地域社会が安全で快適な生活基盤づくりの推進を図るとともに、砂防事業に対する理解を深めていただくため、個々の自然・社会特性を考慮し、地域に密着した砂防事業を展開していくことを目的としています。この事業により、町民の森の火山性の流出しやすい土質、溪岸の侵食や河床に堆積した土砂の流失を防止して、施設の保全を図り、さらに下流域の土砂災害の安全度の向上を図りながら、新たな親水空間を創出し、訪れる人々が砂防事業を身近に感じることができます。



城山をバックに狩野川堤防に行く狩野川100kmサイクリング

また、城山のふもとを流れるふるさとの川・狩野川は、鮎の友釣りのメッカとして全国的に知られており、特に大仁橋から狩野川大橋にかけての区間は「狩野川銀座」と呼ばれるほど多くの釣り人でのびにぎわいます。景観の優れた城山周辺の狩野川河川敷では、さまざまなイベントも開催されており、夏の薪能・秋の鮎フェスタなどに多くの観光客が訪れます。また、9月に開催される「狩野川100kmサイクリング」は、整備された狩野川護岸を利用し自転車の上流から河口までの往復100kmを走るイベントで、狩野川の美しい景観を楽しめるサイクリング大会として、全国の自転車愛好家から注目されています。



浮橋地区ふるさと砂防事業 水辺で遊ぶ園児

長泉町

長泉町 建設計画課長 土屋勇治

長泉町は、伊豆半島の基部に位置し、北に霊峰富士を仰ぎ、東に箱根連山を眺め、緑豊かな愛鷹山中から滔々と湧きいでる桃沢川、町のほぼ中央を縦貫する黄瀬川など、美しい自然に囲まれています。

桃沢川の砂防については、県による砂防事業として、土砂流出防止対策と桃沢川火山砂防事業にあわせて環境整備を進めていただきました。

整備するにあたり地元の住民が事業計画時から参加し、人工林から広葉樹林への転換や間伐材チップを園路整備に生かし、地元の意見を取り入れながら自然環境を本来



砂防堰堤「水と緑の杜公園」(桃沢川)



「水と緑の杜公園」に隣接する桃沢川少年自然の家 屋外施設

の姿に戻し、砂防ダムと公園を配した水辺の空間として「水と緑の杜公園」が作られました。

良好な自然を背景としたレクリエーション空間の保全を生かした、公園として利用されています。

今後、砂防ダムと周辺環境との調和のとれた公園として、また、住民が安全で安心して利用できる施設として整備をしていきたいと思っております。関係各位の一層の支援をお願い申し上げます。



## 由比町

由比町 建設課長 久保田昌武

「活力ある心豊かなすみよいまち」を目指した由比町は静岡県の中央部に位置し、温暖な気候と海、山など豊かな自然に恵まれ、町の活性化を促す観光拠点となった東海道広重美術館、薩埵峠、浜石岳などのすぐれた自然景観を活かした特色ある観光事業を官民一体となって進めております。

当町は海岸線沿いに東西へ帯状に伸びた平坦地と、南北に流れる2級河川由比川・和瀬川の流域を中心とした地域に住家や公共施設が密集しており、これらを除く75%が山地丘陵で占められ、地形的にも急峻なうえ地質は脆弱であります。このため豪雨や地震等による土石流、地すべり、がけ崩れ等の過去幾多の災害に被られてきました。特に昭和36年と昭和49年に寺尾地区を中心に大規模な地すべりが発生し、甚大な被害を受け国直轄の地すべり防止対策事業が長年にわたり実施され、平成12年度に



西倉沢地すべり防止対策

完了いたしました。

また、西倉沢地区においては、住家の背後が急傾斜で崩壊しやすく、海岸線には国道1号、JR等の太平洋ベルト地帯の交通、通信網が走っているため、県では地域住民の協力を得ながら恒久的な地すべり崩壊防止工事を毎年継続的に進めているところです。

現在当町には、急傾斜地崩壊危険箇所が21箇所あり、そのうち13箇所については崩壊危険区域の指定を受け、崩壊防止工事が施工されていますが、落石、がけ崩れ等の土砂災害から人命、財産を守るため、今後も、住民の認識と協力のもと防止工事につとめると共に国・県のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



旧東海道16番目の宿場町。江戸時代の本陣を復元した由比本陣

## 浜松市

浜松市 河川課長 高橋政幸

静岡県西部に位置する浜松市は、北部に赤石山脈の南端が迫り、南部には中田島砂丘が広がり遠州灘へと続き、東部には天竜川が流れ、そして西部は景勝地として有名な浜名湖に面しています。

本市の誕生は、明治44年で市制施行時の人口は、3万6千余人でした。それ以来、周辺町村との合併や、産業、特に楽器・繊維・輸送用機器等の製造業、そして近年では光・電子技術関連の先端技術産業の発展とともに、現在では、人口60万人を目前となっております。

さて、当市における急傾斜地崩壊対策危険区域は、48箇所が指定されております。



上島白華寺 急傾斜地

写真の上島白華寺区域は、平成4年から8年に県施行により崩壊防止工事が施工されました。この区域は、浜松市都市景観条例「市民の森」候補地が隣接しているため、当時、県内では初めての既存樹木を残して法面を保護する法面緑化工法、また、ふれあいの斜面整備として法面に沿って階段を設置するなど、自然を最大限に生かした整備によって、景観や環境にマッチしたものとなっております。

今後とも、関係機関の皆様のご支援を賜りながら、土砂災害防止へのよりよい対応を進めてまいりたいと考えております。



5月に開催される浜松祭り。169ヶ町の大凧が合戦を行うのが見物